

※ 幹事報告 中村大祐幹事

幹事報告をご覧ください。
 ●5月の例会は11日からになります。
 ●5月12日18:30より川口ブルワリーにて婚活パーティーがあります。
 ●5月25日18:00より博多っ子にて写真同好会があります。
 ●6月14～15日8:00東京発で伊勢志摩方面へ親睦旅行があります。



※ 出席報告 荻野梓委員長

本日分	4月20日	Zoom参加	2名
会員数	101名	Make-Up	19名
会場参加	44名	出席率	69.89%



※ ニコニコ資金報告 本庄安寿委員

前日までの累計	1,304,255円
本日の計(31件)	37,000円
本日までの累計	1,341,255円



①卓話埼玉高速鉄道(株)社長 荻野 洋 様
 荻野様、卓話よろしくお願ひします。白井靖会長
 荻野様、川口ロータリークラブへお越し下さりありがとうございます。卓話よろしくお願ひします。中村大祐幹事
 私の再従姉妹が昔、同じお役を致しておりました。芝崎眞理会員
 卓話宜しくお願ひします。元郷駅の近くでいつもご利用させて頂いております、ますます便利になりますね。渡辺成子会員
 荻野様、卓話よろしくお願ひします。佐藤進会員
 同じ趣旨で 花石啓介会員、小川長四郎会員、請川かおり
 会員、柳澤昭子会員、小倉克徳会員、砂沢学賦会員、丸山恵美子
 会員、佐藤龍会員、多田竜一会員、杉山伶子会員、増田春久会
 員、岩崎真佐美会員、松本道和会員

②入会記念祝
 入会記念の皆様、おめでとございます。白井靖会長

入会記念の皆様、おめでとございます。寺田美津司会員
 入会して43年目を迎えました。小倉利夫会員
 入会祝、ありがとうございます。16年たちました。これからもどうぞよろしくお願ひ致します。竹ノ谷裕子会員
 浅沼年度に入会し、毎日楽しくロータリーライフを送ってます。昨日は羽田ロータリーメーキャップに行っておりました。夜景がステキで毎日例会がこの場で出来るなんてうらやましいです。朝日恵子会員

③その他
 4/30日の19:00から駒込のイタリアニオステリアに向けてウォーキング、ランニングします。ご参加お待ちしております。白井靖会長
 昨日の東京羽田ロータリークラブのメーキャップお世話になりました。有意義な一日でした。本日は次年度のクラブ活性化の研修・DEI委員会を例会後に行います。出席をお願いします。

木内賢治会員
 佐藤さん邦須野さんありがとうございました。今日はダンスレッスンの日です。御参加お願ひ致します。本庄久子会員
 荻野社長卓話お願ひします。3月はロータリー財団のことで、4月は県議選市議選で忙しかったです。連休は畑での野菜作りと南青山の別宅での休養をしたいです。早船雅文会員
 GW後半は天気が悪いようです。なるべく前半に予定を組みましよう。自分は仕事でどこにもいけません。篠田元一会員
 新会員の皆様、楽しいロータリーに早くなじんで下さい。森絹子会員
 小川さん、観桜会の写真ありがとうございます。

竹ノ谷裕子会員
 内容は本庄安寿会員に任せる。(GWはベトナムに旅行に行くので、楽しいお土産話が皆さんにできるといいなと思っております。本庄安寿会員) 北村透会員

● 地区出向者報告

多田竜一会員より、管理運営部門の報告がありました。



※ 本日の行事

● 入会記念祝



竹ノ谷裕子会員、小倉利夫会員、白井靖会長、朝日恵子会員

観光業の「産業化」へ(今こそ、コロナ後の一手を考える)

コロナ前ではあるが「観光は日本の基幹産業」と言われるようになっていた。しかし、コロナ禍により、観光業、特にインバウンド観光は壊滅的とも言える影響を受けている。しかし、今後の経済浮揚策を考える時、真っ先に手を付けるべきは、観光による旅客流動を増やすことだと考えます。現有施設を最大限有効活用し、大きな追加投資は要らないからです。

そもそも「観光産業」という産業分類は日本国の統計基準にはありません。各産業分類(宿泊業、運輸業、物品販売業など)の中から観光庁が「観光」に関わる生産割合を試算にて産業分類別に観光生産高を推計し、これを合計したものを観光産業生産額(「観光白書」として発表しているのです。

○これからの日本の最大の課題は、人口減少・少子高齢化。外国人旅行者が落とすお金は、意外に大きい。
 2052年には、総人口1億人、しかも、総人口の約40%は65歳以上。(現在、27%)併せて、生産年齢人口も大きく減少。定住人口1人あたりの年間消費額(125万円)は旅行者の消費に換算すると外国人旅行者8人分、国内旅行者(宿泊)25人分、または国内旅行者(日帰り)81人分に当たる。

○拡大し続けていた国際観光市場→ただし、コロナ禍でストップ
 2010年には9.4億人が2030年には18.1億人になると予想していた。アジア人の伸びが著しかった。(アジア人の生活レベルの中間層化)

○コロナ後の日本を支えるのは、観光業。コロナ前には……
 世界のGDPの中で、観光業の占める割合は10%
 世界の雇用の中で、観光業の占める割合は10% **日本は観光を軽視傾向。**

日本のGDPの中で、観光業の占める割合は7%
 日本の雇用の中で、観光業の占める割合は7%
 ○日本の「観光業」に対する認識は大変に遅れています。(日本人の潜在意識)
 日本人の持つ生真面目さに由来して、もともと「ひとが真面目に働いているときに物見遊山する」という後ろめたい産業という意識が、根底にあり、「観光産業」と言う捉え方は、定着していなかった。

○最初の観光に関する「業法」は、東京オリンピック時の「観光基本法」。
 小泉内閣時、「Visit Japan」、当時は「2010年には、海外からの旅行者を1000万人にしよう」(実際には、2012年にやっと、830万人)その後、600万人から800万人で推移していた。訪日外国人旅行者の数は、2017年2869万人、2018年3119万人。特に、この6年間(2012年から)で3.7倍になっていた。2018の内訳では、中国、韓国、台湾、香港で約4分の3を占めている。それに、インド、ベトナム、フィリピン、インドネシア、シンガポールを入れると、6分の5に達していた。

○日本人は日本の本当の良さを知らない、「アタリマエのことと思っている」
 日本が持つ「観光先進国」への可能性。まずは安全。気候、自然、食、文化・フランス、イタリアと並んで**観光的見どころの多い稀な存在。**
 ○観光は平和産業でありソフトな安全保障だ。日本の今後の進む道は3立国(科学立国、貿易立国、観光立国)。**日本のブランド力は高い(世界からの評価も高い)**

訪日外国人観光客の増加に期待し経済活性化をしよう。

○2018の訪日外国人旅行消費額は4兆5064億円。(2012では1兆1千億円であったことを考えると、4倍の伸び率まで行った。)
 ○近年の外国人旅行者の増加がもたらす影響として、消費・投資ともに大きな効果をもたらしていた。例・化粧品売り上げ。また、輸出にも大きな効果をもたらした。紙おむつ、スキンケア、ヘアケア。
 ○また、リピーターが増え、それにつれて地方を訪れる外国人旅行者の割合が大きく増した。(特に、香川県、佐賀県、青森県、沖縄県、岡山県における宿泊業の建築工事が無茶苦茶に伸びた)
 ○このように、外国人旅行者の増加を梃子にして、コロナ後の日本経済を活性化していく動きは急速に活発化していく。「**観光ビジョン実現プログラム**」

上記の国策的な動きに、乗り遅れないことが必要。

○外国人旅行者の旅行動態の変化
 団体パッケージツアーから個人旅行へ→**戸塚安行を世界の盆栽の中心に。**
 スマートフォンを最大限活用した旅行スタイルへ。リピーター数の増加
 ○鉄道事業者もインバウンド外国人の受入環境を整えつつある。
 多言語案内・コミュニケーションの改善。無線LAN環境の整備。キャッシュレスの取り組み。ORコード使用の決済。MaaSによるシームレスなサービス提供。

トイレの環境整備。災害情報の提供など。

○交流人口をどう作るか(単なるベッドタウン化はしない)この街を訪問してもらいお金を落としてもらう工夫。鳩ヶ谷の観光地化。
 ○地元の知名度向上をどうやるか?御成道観光(将軍ロードとして売り出す)

川口では、新井商店、木風堂(赤山研究)、地藏院など。点から線へ。新名物を作る(駅で売ります)。新名所を作る(駅で宣伝します)お金をかけずに(ソフト面のアプローチで)知恵を凝らす。鉄道業は発信力と誘客力が得意分野。そして何より昼間旅客が増えること。

○埼玉県の有利性。
 東京という巨大マーケットの日帰り圏内。コンベンションのメッカだが、次の日の観光地がない。だから、京都・奈良へ。ビジネスチャンスの逸失利益。「**チョコ旅埼玉**」(県物産観光協会)は素晴らしいキャッチフレーズ。

